

「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育む工夫

歴史で学んだことを未来に生かす「これからの社会を構想しよう」

NEW

最終單元では、これまでの学習を「現在」・「SDGs」につなげて考える「これからの社会を構想しよう」を設置しています。歴史的分野の学習を振り返って、歴史と自分たちとのつながりや、現在の日本や世界のあり方について考える対話型学習に取り組むことで、**よりよい社会の実現に向けた参画意識**を育むことができますようにしています。

3 時代の特色を考察しよう。 思考・判断・表現

1 これまでの考察を踏まえて、近世はどのような時代だったかを、あなたの言葉でまとめよう。

近世の特色

近世は、 [] [の] 時代である。

なぜなら、 [] [だ] からである。

2 上でまとめたあなたの考えを、タイムトラベルを活用して、発表しよう。

「これからの社会を構想しよう」(→p.307) への準備

現在との つながりを考えよう

近世の学習から、現在の社会と共通していると感じたことは何か、また、大きく異なっていると感じたことは何か、右の視点を参考に話し合ってみよう。その際、タイムトラベルも改めて見返してみよう。

視点

- ・特産物の生産
- ・ひな祭りや端午の節句などの行事
- ・印刷物の普及 など

SDGsとの つながりを考えよう

コラム「未来に向けて」や本文、タイムトラベルなどから、地球的な課題と関連していると感じたものを探し、SDGsの17の目標のうちどの目標とつながっているのか、ほかの人と話し合ってみよう。



「学習する時代の見直し」(→p.105) に戻ってみよう 主体的な学び

章のはじめにあなたが立てた予想から、あなたの、この時代に対する考えはどのように深まっただろうか。章の学習を通じて感じたことや、さらに深めたいと思ったことを、下の「振り返り」に書いてみよう。

- 節や章の問い、時代の特色をまとめる際に使用した用語に✓をつけよう。
- 香辛料 (p.108)
 - 蝦夷地 (p.131)
 - 植民地 (p.111)
 - 五街道 (p.140)
 - 太閤 (p.117)
 - 浮世絵 (p.145)
 - 百姓 (p.118)
 - 貨幣経済 (p.146)
 - 旗本と御家人 (p.125)
 - 商品作物 (p.147)
 - オランダ風説書 (p.129)
 - 打ちこわし (p.148)
 - 朝鮮通信使 (p.129)

振り返り

- 章の問い：学習を通して考えをまとめることが よくできた できた あまりできなかった
- 時代の特色をまとめるうえで有効だった「見方・考え方」 時期や年代 推移 比較 相互の関連
- 「学習する時代の見直し」から考えが深まったこと
- 章の学習を通して感じたこと・さらに深めたいと思ったこと

160

↑p.160

これからの社会を構想しよう



ここでは、3年間の歴史の学習を振り返って、歴史と私たちのつながりや、現在と未来の日本や世界のあり方について、考えをまとめたり話し合ったりして、表現してみよう。取り組むときには、グループを組んでやってみよう。

1 各時代について、その特色と、現在やSDGsとのつながりを書き出そう

これまでの学習を振り返って、各時代の特色をまとめよう。そして、現在とのつながりやSDGsとのつながりを考え、右に書き出してみよう。その際には、各章の振り返りの「これからの社会を構想しよう」への準備で話し合った内容を思い出そう。

	時代の特色	現在とのつながり	SDGsとのつながり
2章 古代 → p.62			
3章 中世 → p.104			
4章 近世 → p.160			
5章 近代前半 → p.226			
6章 近代後半 → p.274			
7章 現代 → p.306			



↑p.307

展開①(p.307) 各時代について、その特色と現在やSDGsとのつながりを書き出す

各章末の「学習を振り返ろう」で考察した内容を、グループで話し合ってみよう。話し合ってみよう。話し合ってみよう。

展開②(p.308) テーマを決め、歴史的な背景を整理して課題解決への鍵を探る

- SDGs17のゴール(教科書巻頭1-2)などを参考にして、現代社会の課題となっていることの中から、関心の高いテーマをグループで決めよう。
- 設定したテーマについて、現在に至るまでにどのような歴史的経緯があったのかを整理しよう。
- 整理を踏まえて、課題を解決するために何が鍵になるかをグループで話し合おう。

展開③(p.309) これまでの学習を踏まえて、未来への手紙を書く

歴史的分野の学習の総まとめとして、「これから自分が何に取り組むつもりか、未来の社会はどのようになっているか」を、22世紀の中学生へ手紙を書く作業を設置しています。

公民的分野の学習へ

ポイント

各章末の「学習を振り返ろう」の中の「これからの社会を構想しようへの準備」で取り組んだ内容をもとに、現代社会の課題について歴史的な経緯を調べ、課題解決への鍵を探る学習活動をする構成となっており、公民的分野の学習に接続できるようになっています。